

費用対効果算出時の前回評価 との比較について

平成28年2月22日

国土交通省 関東地方整備局

費用対効果算出時の前回評価との比較について (1/4)

○対象事業の総費用が前回評価時と単純比較できない場合があり、現在価値化前後の変更要因など説明が不足していた。

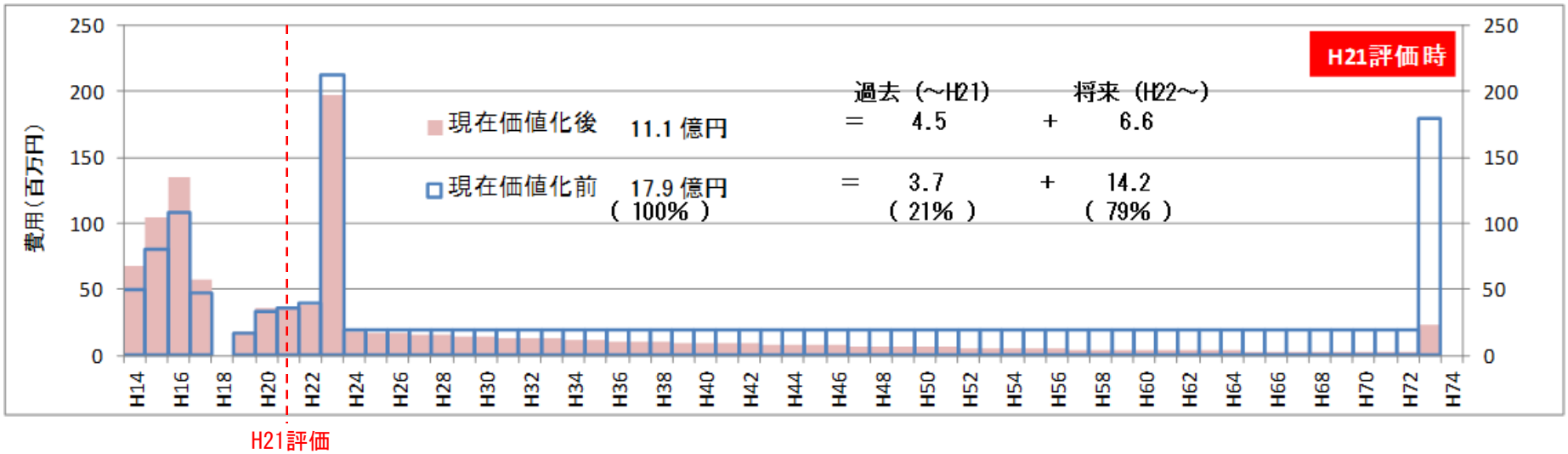
・例: 多摩川環境整備事業(水環境)資料の抜粋

項目	平成27年度再評価 (今回評価)	平成21年度再評価 (前回評価)	主な要因
B/C	3.9	7.9	
総便益 (B)	29.5億円	87.8億円	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的割引率(年4%)を用いて現在価値化を実施 ・CVM調査における支払い意思額の低下 ・受益範囲の減少
総費用 (C)	<p style="text-align: center;">  7.6億円 <現在価値化前:6.9億円> </p>	<p style="text-align: center;">  11.1億円 <現在価値化前:17.9億円> </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的割引率(年4%)及びデフレーターを用いて現在価値化を実施 ・整備内容の精査(ポンプから自然流下に変更) ・モニタリング調査の追加 ・維持管理費の縮減(ポンプ運転経費を削減)
事業期間	H14~H24	H14~H23	<ul style="list-style-type: none"> ・工事着手までの事前調整に時間を要したことによる遅れ
便益算定の 計算条件	<ul style="list-style-type: none"> ・評価時点:平成27年度 ・評価期間: 整備期間+50年間 ・世帯数データ: 平成22年度国勢調査 ・単価: 平成27年度CVM調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価時点:平成21年度 ・評価期間: 整備期間+50年間 ・世帯数データ: 平成17年度国勢調査 ・単価: 平成21年度CVM調査 	

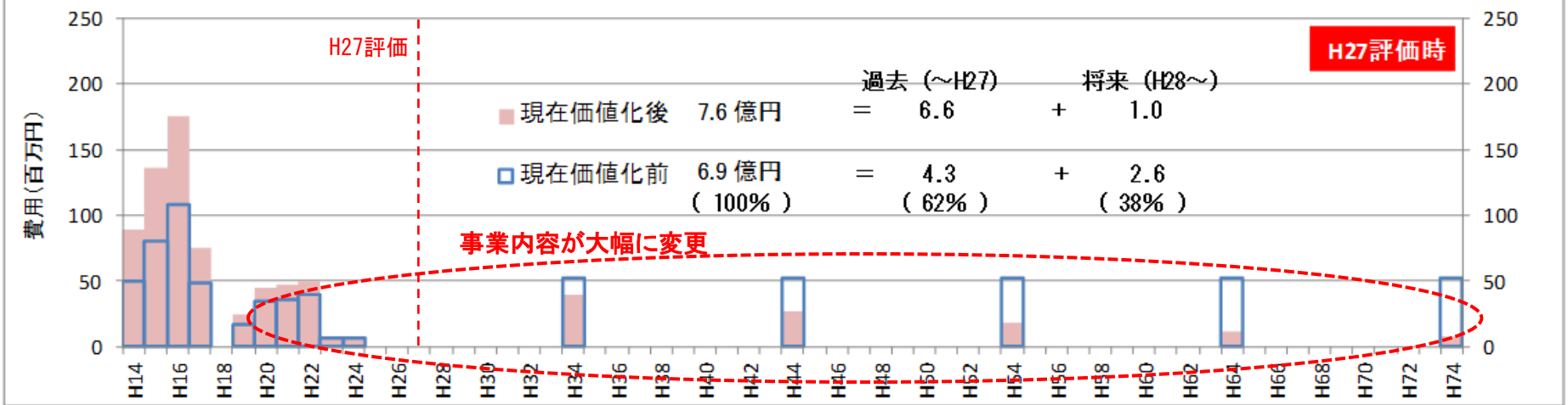
費用対効果算出時の前回評価との比較について (2/4)

○事業内容が変更となり、単純に現在価値化前後の費用など比較できないものがある。

前回評価 総事業費：17.9億円(当初計画)、評価基準年：H21

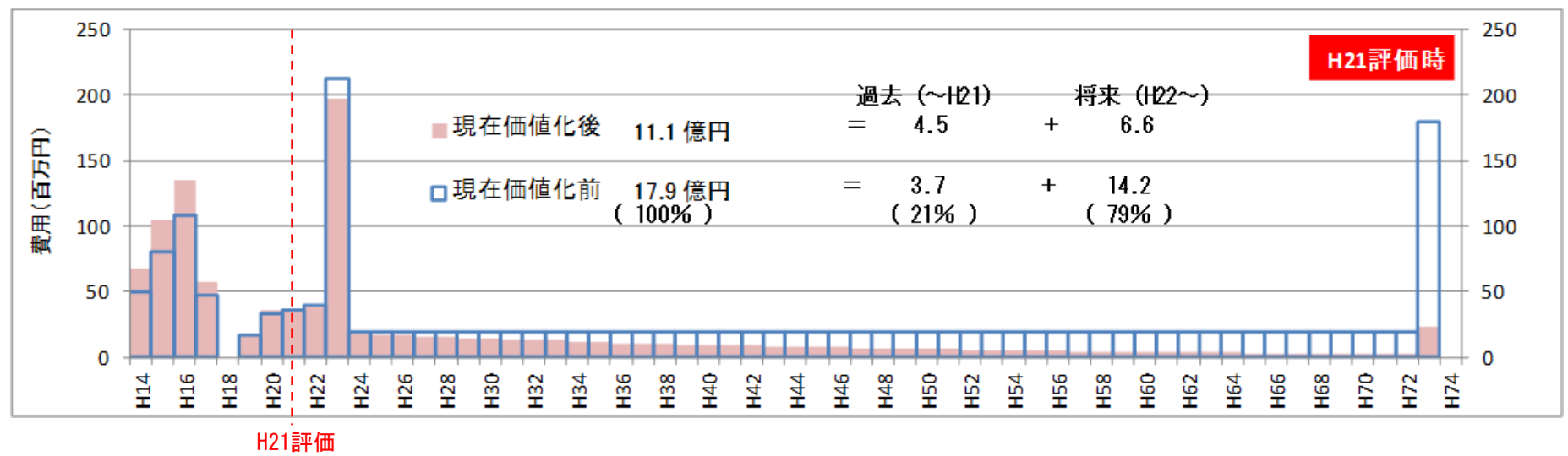


今回評価 総事業費：6.9億円(現計画)、評価基準年：H27

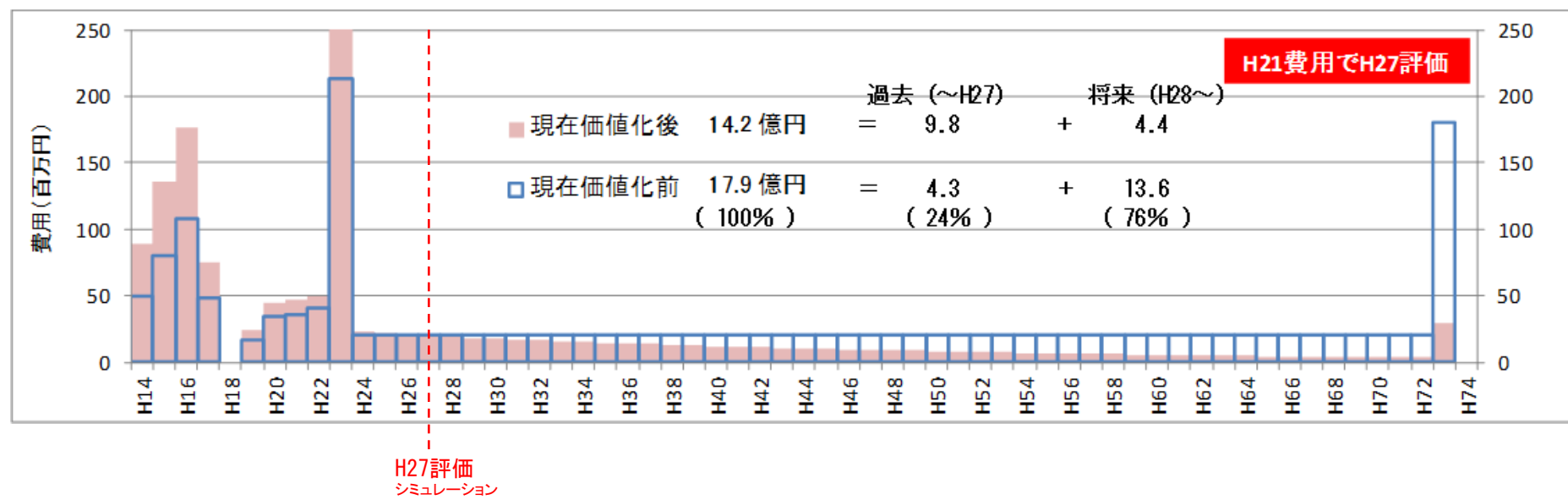


費用対効果算出時の前回評価との比較について (3/4)

【ケース 1-1】 前回評価 総事業費：17.9億円(当初計画)、評価基準年：H21(前回評価時)

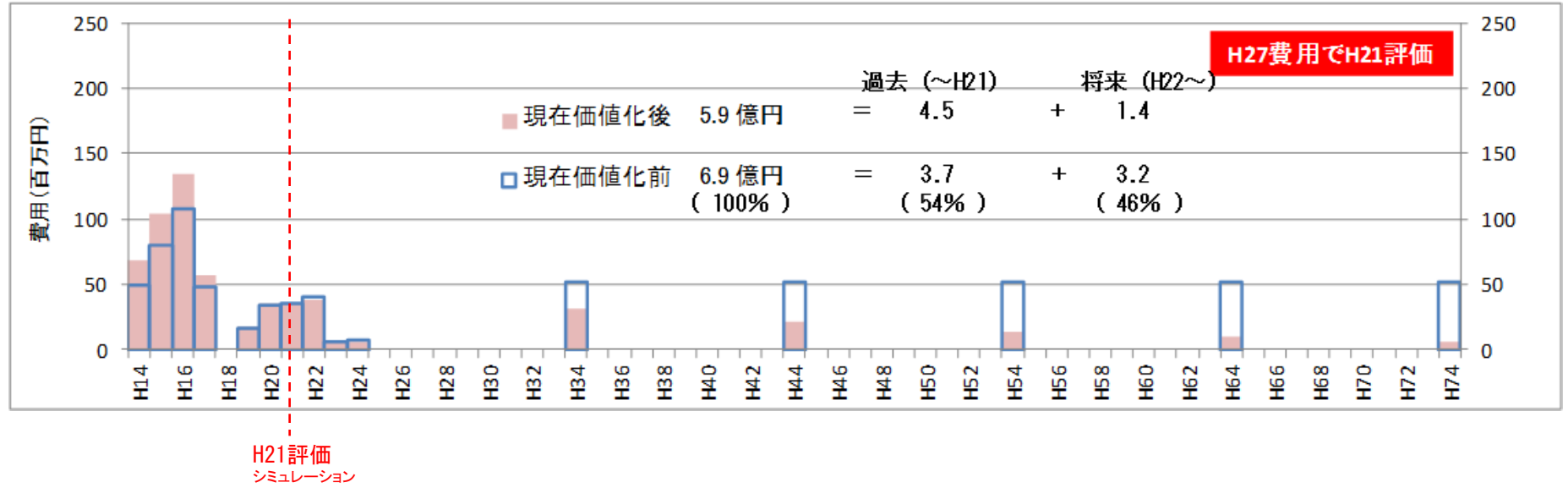


【ケース 1-2】 今回評価(前回評価と内容変更がなかった場合をシミュレーション) 総事業費：17.9億円(当初計画)、評価基準年：H27



費用対効果算出時の前回評価との比較について (4/4)

【ケース 2-1】 前回評価(今回評価の内容で、前回評価を行った場合をシミュレーション) 総事業費: 6.9億円(現計画)、評価基準年: H21



【ケース 2-2】 今回評価 総事業費: 6.9億円(現計画)、評価基準年: H27

